



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和5年 1月17日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 外ヶ部町伝統芸能伝承保存会
団体名 建部町伝統芸能伝承保存会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名称	建部地域伝統芸能伝承事業
事業実施小学校区・地区	北区建部町 建部小学校区、竹枝小学校区、福渡小学校区
事業実施回数	継続 9 回目 / 【平成 27 年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 本会は、同じ目的をもった建部地域の11団体で構成しているが、各団体とも継承者が減少している状況にある。また少子化の影響により、最近では女人禁制の解除や、児童を低学年まで参加要請するなど後継人員の確保に苦慮している。県中部にあたる建部地域は過疎化が急激に進展し、高齢化率は50%に迫っており、更に進んでいる状況に加えて、コロナウイルス感染症により、主活動が3年休止となっている。こうした中において地域の伝統芸能を如何に継承していくかが鍵となっている。町外への転出者はもちろんであるが、未経験の転入者や地域外へ転出された方々の参画も必要な時期となっている。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 本会は、建部地域の各地区で伝承されている伝統芸能について、保存と伝承を推進するための活動を行っている。 建部地域の神楽は、岡山県中部特有の獅子舞で、古いものでは江戸時代中期より継承されている神楽もある。棒遣いは、古武道竹内流の棒術の所作を取り入れたものとも言われており、これらの演舞は御津、建部、久米郡地域等に伝わる伝統ある郷土芸能である。 建部地域は人口減少や少子高齢化による集落機能が低下した中山間地域ではあるが、先人から受け継がれたこの由緒ある伝統芸能を絶やすことなく後世に伝えていかなければならない。児童生徒への指導や地域内外に向けた啓蒙活動などを行い、世代を超えた活動の重要性を示すと共に、近年希薄になりがちな地域のコミュニケーションを活性化し、伝承保存活動を通じて、地域ぐるみで安全で心豊かな地域社会を維持継承することを目的とする。

事業の内容・感染防止対策の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 【伝承活動】・それぞれの構成団体で児童生徒への指導、また指導者の育成や地域交流を行う。 ・地域外へ転出した経験者へ再参画を呼びかけ、協力をお願いする。 ・現在、参加されている地域外の経験者から、更にその輪を広げ参加を求める活動を継続して行う。 【広報活動】・地域内外で開催されるイベント等へ積極的に出演しPRする。 吉備津彦神社新年祭、はっぼね祭り、建部町納涼花火大会、 建部町文化祭、御津獅子舞フェスタ等 ・岡山市のホームページや「たけな新聞」をはじめ、FacebookやTwitterなどSNSを活用した広報戦略により伝統芸能を発信する。 ・岡山県や岡山市の情報誌、観光案内のチラシやPR動画等に写真の掲示や映像を流すなど依頼し、伝統並びに伝承活動を発信する。 ※実施する感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。 国から示された「イベント開催制限等」に基づき、岡山県、岡山市の感染防止対策に留意のうえ次の取り組みを行う。 【感染防止具体策】 ・練習参集時には検温を行い、消毒及びマスクを着用する。 ・獅子舞の練習では多人数での踊りは避ける。 ・獅子頭は使用の都度、銜え棒を消毒する。または、銜え棒を個別に持つ。 ・笛、鉦の練習では、対峙することなく横一列で間隔を開ける。 また、笛の貸し借りは禁止する。 ・やむを得ず屋内で練習する場合は、人数を制限し常に換気に心掛ける。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 【伝承活動】お祭りの笛や太鼓の音色は誰しも心がワクワクするものであるが、子供たちの参加にあたっては、楽しさや面白さなど興味がわく事が肝要であり、発表の場づくりも重要である。達成感を味わうことで、大人になっても当時の想いを忘れず参加し続けることができれば、持続可能な伝承活動を進めることができる。また、獅子舞は各戸の厄除け、禍を払い、棒遣いは魑魅魍魎を退散せしめ祓い清めるなど、「何のために行っているのか。どのような意味があるのか。」を演舞や囃子の伝承活動に加えて子供たちにしっかりと教えていくことで、参加することの必要性、より達成感の向上に資すると考える。また将来、成人となり他地域に出たとしても、故郷の一番の思い出となり、機会があればいつでも参加したいと思えるような郷土愛が育つことが期待できる。この活動には、子供から高齢者まで三世代参加などもあり、多世代で交わることにより、顔の見える地域コミュニティづくりを進め、災害等の有事の際などにおける共助、支援体制をより強固なものとし、住みよい地域を創造するための協働活動の一つであると認識している。地域内の交流、協力、共助等の失われつつある古き良き地域の姿を取り戻すために、地域のリーダー的人材の育成にも期待できる。更には、自然と文化に溢れ、ほのぼのとしたこの建部の地に、定住したいと思ってくれる方々が現れ、人が人を呼び、人口減少の歯止めの一助となることを期待する。 【広報活動】現在、県指定重要無形民俗文化財が33件あり、うち2件が建部地区にある。昭和32年指定の志呂神社御供と平成6年指定の建部祭りである。どちらも獅子舞と棒遣いが奉納されており「建部新聞」等で情報発信しているが、来訪者(観光客)はさほど多くない。これら二つの祭礼は地域の自慢であり、知恵と力を最大限に生かして協働して地域ぐるみで更に広報活動することで、来訪者増はもちろんのこと、建部地域への関心度アップを図り、ひいては都市農村交流や移住・定住のきっかけになれば素晴らしい活動として継続できる。

企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をのぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください 「獅子舞・棒遣いとは何か。」「何のためにするのか。」 演舞し囃子を奏でるが、何のためにしているのか子供は意外と知らない。獅子舞は各戸の厄除け、禍を払い、棒遣いは魑魅魍魎を退散せしめ穢い清めるなど、各戸を自分たちがお祓いしてあげなければならないのだという使命をしっかりと教え認識させる。これにより、やり遂げた達成感に加え、伝統芸能の大切さと郷土を思う心の醸成に努める。 「連絡会議」 前年度に引き続き、個々の保存会にある課題を共有し、解決に向けて考える「連絡会議」の活動を推進する。いろいろな出演の機会があっても一つの保存会では人数が揃わないなど厳しい場面があるが、2団体、3団体が協力すれば目的を達成することも可能であり、全構成団体で、この区づくりの場を通して課題解決に当たっていく。近隣の御津地域の保存活動と協調して各種イベント、研修会や講演会の開催や参加を画策し、活動内容を発信する範囲を広めていく。ソーシャルメディアを活用した広報活動によって、全国どこでも誰もが視聴でき、また視聴者との情報共有を目指す。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 建部町3学区連合町内会と各単位町内会、建部町公民館、おかやま観光コンベンション協会、建部町観光協会、たけべ八幡温泉、めだかの学校、たけべ新聞並びに岡山市、岡山市建部支所との連携を大切にし、同じ目的を持つ御津地域の保存会との交流など、伝統文化を効果的に発信できるよう様々な団体と情報交換を密にしている。
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 本事業においては、伝承活動と併せて広報活動を行うこととしている。発足している「たけべ新聞」を通して「建部地域の神楽・棒遣い」のページを設けて発信する。また、県や市な行政のホームページとも相互リンクを推進する。県、市の情報誌や区づくり事業を介して、保存会の活動を広く発信できる機会が増えた。また、関係の講演会等に参加して、活動のノウハウを得ると共に、活動の情報交換もできるようになっている。
学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 御津地域で「獅子舞継承活動事業」が実施されているが、歴史的にも古くから伝承されている建部地域も同様の活動と、かつ建部地域ならではの先進的な活動を行うことで、お互いの地域での相乗効果が図られる。最近では御津獅子舞フェスタに継続して参加しており、今後は、岡山市以外の関係団体との交流を目指したい。
前年度からの見直し拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 「連絡会議」を中心にして情報交換、活動を引き続き行う。それぞれの保存会で購入している消耗品や修繕、新しい衣装づくりなどの揃え方などを出し合い、更に省力化やコスト削減などができるようにする。 加えて会議等で議論を進めることで関係者が認識を共有し活動することができれば、更なる効果を得ることができる。様々な出演要請に応えるだけでなく、こちらから出演交渉するなどPRできるような方向を目指す。また各種講演会、討論会等に積極的に参加し、情報交換を図り、有効な活動の礎としたい。

次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 次年度以後の活動計画 ・地域内外の新たなイベント等の調査と出演。 ・各団体の映像による記録の検討と広報宣伝用の映像素材の作成検討。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： ・構成団体によっては、保存会会費の増額や新規徴収 ・各種イベント等に積極的に参加することにより資金確保の足掛かりを模索する。
その他PRしたい点	【ネットワーク】 古来より引き継がれてきた伝統文化、そして未来へ引き継いでいく伝統文化は、各地域によって異なっており、その継承方法も千差万別である。建部地域だけでなく、御津地域や岡山市の他地域で伝承されている伝統芸能とのネットワークを広げ、いつの日か「岡山市伝統芸能大会」が企画されることを願うとともに積極的に呼びかけていきたい。 【地道な活動】 本会は地域内の同じ目的、同じ問題を抱えた団体で構成されているが故に、秘めた熱い思いを持って各会員が率先して活動に参加してくれている。昨年度もコロナ禍で多くの保存会が活動を休止したが、4 保存会が練習を行い建部祭りにおいて、村廻を実施した。また、県主催の民俗芸能フェスティバルにおいて建部祭りを代表し、多白枯鴨神社の棒遣いを披露した。 近年、働く世代が都市部に流出してはいるが、いずれ戻ってきたいと思ってもらえる様な、組織づくりと魅力づくりのためにこれからも地道に活動を続けたい。都市部に比べ、情報や物資では勝つことはないが、田舎ならではの心豊かなコミュニケーションと普段の生活の中から自助、共助の精神をもって持続可能な保存会を目指す。 【コロナ禍からの再始動】 コロナ禍により過去3年間にわたり殆ど活動できていない。児童・生徒には3年間のブランクは大きく、勉強やスポーツ等が中心で、獅子舞・棒遣いの魅力が薄れている可能性が大きい。また、子どもたちの参加にあたってはコロナ禍が終息の方向となっても保護者に理解が得られるかが課題と思われる。 今後、活動の対策や方針が定まれば、地域や保護者に地道に活動の思いを説明していくと共に、再始動では子どもたちの興味を引くような、ワクワクするような呼びかけを考えていく。 【協働力】 今後生じるであろうと予測される災害等の有事の際、最も必要とされるのが、地域の協力であり、これまで取り組んできた伝承保存による地域コミュニティ活動が必ずや協働力として、その効力を発揮すると考える。 【期待】 都市部に比べ利便性等は劣ることは否定できないが、岡山・津山から約1時間、空港からは約30分のアクセスの良さと温泉もあり、癒しの生活ができる環境のある建部の地に定住したいと思ってくれる方々が現れ、人が人を呼び、人口減少に歯止めがかかる事を期待している。

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	はっばね祭り 連絡会議
5月	役員会
6月	総会
7月	練習準備会議(新型コロナウイルス感染症対策の確認)
8月	建部町文化祭事前打ち合わせ会 練習・指導開始
9月	練習・指導 各団体で相互視察
10月	建部町文化祭事前打ち合わせ会 秋祭り本番
11月	建部町文化祭への出演 各団体別反省会 御津獅子舞フェスタに協力
12月	建部町文化祭反省会 役員会
1月	吉備津彦神社新年祭での出演 臨時総会 連絡会議
2月	会計監査
3月	はっばね祭り実行委員会

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	306,700	540,000	一般440,000+コロナ関連100,000
実施団体負担金	215,761	438,000	
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入		2,000	
収入合計	522,461	980,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	112,101	466,000	草履、足袋、リボン、事務用品(用紙、インク)
②食糧費	41,468	44,000	会議・練習用飲み物
③印刷製本費	7,522	5,000	コピー
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	4,116	5,000	切手代
⑦広告料			
⑧手数料	98,200	149,000	クリーニング代
⑨使用料・賃借料	8,100	80,000	会議会場使用料・車使用料
⑩原材料費	143,082	73,000	御幣用用紙・衣装布
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	12,000	55,000	指導者謝金
⑭保険料	4,604	3,000	傷害保険
⑮旅費			
小計(①)	431,193	880,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	91,268	100,000	アルコール消毒液(手指用・器具消毒 用)、CO2濃度測定器、マスク
小計(②)	91,268	100,000	
支出合計(①+②)	522,461	980,000	

◆概算交付の可否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ 希望しない
----------------	--------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。